

いのちの電話とは

「いのちの電話」は、民間のボランティアによる
危機介入機関として、1953年イギリスで始められました。

日本では、1977年東京に開設されて以来

現在までに、50センターが設けられ

「日本いのちの電話連盟」が組織されています。

山形いのちの電話は、1994年10月に

東北では、仙台・盛岡に続く

3番目のセンターとして開局しました。

いのちの電話の運営資金は、

主として市民の善意による

寄付金でまかなわれています。

なぜ電話で自殺予防なのでしょう？

危機介入において重要なことは

専門・非専門を越えて、

「今、ここで」危機にある人の心を支え

信頼の絆をつくることです。

危機回避の秘訣は、ひとりの人間としての

成熟した思いやりのある真摯な対応である

とされています。

市民ボランティアの意味とは？

いのちの電話の相談活動を支えているのが
約1年半にわたる電話相談員養成講座を修了し
認定を受けた市民のボランティア相談員です。

「いのちの電話」の相談活動は
特定の思想や宗教、信条に限定されません。

悩んでいる人や孤独な人のよき隣人として、
受話器を握り傾聴するものです。

研修をとおし自分を深く知ることで

自己成長のきっかけにもなります。

この機会に、あなたもこの活動に加わりませんか。

いのちの電話相談員の5つの柱とは

1つ目 1994年10月の開局以来365日午後1時から
午後10時まで相談電話を受け付けています。
相談員になると、毎月2～3回程度相談電話を
担当することになります。

2つ目 相談員になるには、所定の研修・訓練を受けた後に
相談員認定を受けることになります。

3つ目 相談員認定後も引き続き、月1回の
継続的な研修などが義務づけられています。

4つ目 活動費に関しては、交通費や研修費などは
全て自己負担となります。

5つ目 山形いのちの電話事業を支えるための
様々な事業に参加・協力していただきます。

【第20期 電話相談員養成講座 日程】

1. 日 程 『前期』 2017年10月～12月
『後期』 2018年 1月～ 6月
『実習』 2018年 7月～2019年3月
『認定』 2019年 4月
2. 研修時間 土曜日・午後（予定）※講師の都合により変更の場合があります
3. 募集人数 20名程度
4. 研修場所 山形市内の公民館などの公共施設
5. 研修費用 前期・後期 各12,000円（分納）《別途 宿泊研修費として10,000円》
※納入いただいた金額は、返金いたしませんのでご了承ください
6. 受講資格 22歳以上68歳までの心身共に健康な方でいのちの電話の事業に
参加・協力できる方（性別・学歴・職業は問いません）